



クビナガリュウ
ホッピー

ホッピーだより

第283号

平成20年6月1日 (2008/6/1)

むかわ町立穂別博物館 054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141

<http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/>

むかわの化石 (その1)

むかわの化石 (時代別)

むかわ町は、これまでに何度も海になりました。その海にいた、たくさんの生き物が、化石として見つかっています (アンモナイトやクビナガリュウなど)。

穂別地区には、約一億年前からの証拠が残されています。

大きく、2つの時代に分けることができます。



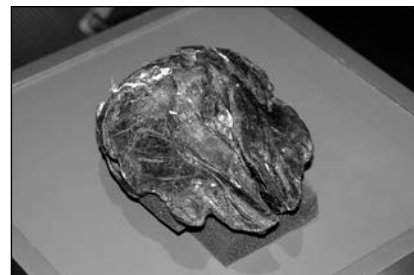
アンモナイト

新生代 (しんせいだい)

：約6,500万年前～現在。さらに、古第三紀 (6,500万～2,300万年前) と新第三紀 (2,300万年前～現在) に分けられます。別名「哺乳類の時代」で、人類も登場しました。

穂別地区では、約4,500万～500万年前の証拠があります。

穂別の化石：クジラ・イルカ、デスモスチルス、サメ
二枚貝、巻貝、ツノガイ、ウニ、スナモグリ
植物化石



イルカ (ホベツセントリオドン)

中生代 白亜紀 (ちゅうせいだい はくあき)

：約1億4,500万年前～6,500万年前。約9,960万年前までを白亜紀前期、その後を白亜紀後期と呼びます。別名「爬虫類の時代」で、たくさんの恐竜が栄えました。

穂別地区では、約9,000万～7,000万年前の証拠があります。

穂別の化石：クビナガリュウ、モササウルス、ウミガメ、
リクガメ、サメ
アンモナイト、オウムガイ、イノセラムス、
二枚貝、巻貝、ツノガイ
ウニ、ウミユリ、サンゴ、スナモグリ、
ハコエビ、アサヒガニモドキ
植物化石



ホベツアラキリュウ

それぞれの時代に、いろいろな生き物がいました。

(学芸員 桜井)

6/21は化石採集！ (「ホッピー化石教室2」)

穂別の白亜紀の地層で化石をさがそう！

9:30博物館集合～11:30博物館解散

(鵜川地区からは、送迎があります)

町内の小中学生対象。くわしくは、博物館 (45-3141) まで。

(雨の場合は、「化石クリーニングとレプリカづくり」です)



昨年の化石採集のようす

“大きな化石を とったど〜！” の巻

5月15日、現地調査に行った時です。同行の学芸補助員が沢の中で「ウオーッ」と雄叫びをあげながら、大きな物体を転がしています。急行すると、それは珪化木でした。学芸員によると、白亜紀後期、およそ7000万年前の木が、永い永い時をかけてケイ酸分がしみ込み、結晶となって堅い石に変わってしまったもの、だそうです。

車までの距離は、現場から2〜300メートルでしょうか？ しかし、道無き道を進むので、なかなか正確な距離はわかりづらいのです。とりあえず、石を運び出すための準備を整えて再チャレンジという事になりました。

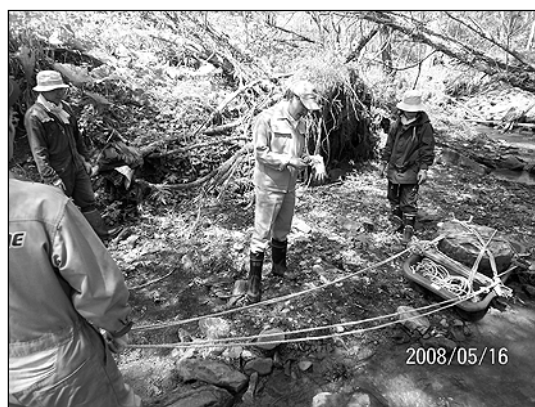
次の日、晴天のもと総勢5人で、大型のソリやロープ、板など、必要と思われる物を装備して現地へ向かいました。山歩きは、普段から歩いている人といない人とは、格段の差が出ます。慣れていない人にとっては重労働です。現地に着いたとたん「疲れちゃった」というひとこまがあって大笑い。さて、いよいよ作業の始まりです。



＜ソリが壊れませんように・・・＞

ガッチリとソリに石を結わえ付けて、さあ、運搬開始！ 男性4人が調子を合わせ、力をこめて、（小さな）山を越え（小さな）谷を越えて進みます。引っ張って、引っ張り上げて、引っ張り続けて、なんとか車までたどり着く事が出来ました。

博物館に戻って、「はたしてこの石は何キログラム？」と思い、100キロまで可能な台ばかりで量ってみました。60キロ？ 70キロ？ いえいえ、針はビュンと1回転して10キロでピ



＜ふうー、もうひとふんばり！＞

タツと止まってしまいます。結局、110キロよりはるかに重いというところまでしかわかりませんでした。

博物館のロビーや展示室には、も一っと重そうな化石たちがならんでいます。いったい、どうやってここまで来てくれたのかしら？ 調査に行ってもなかなか化石に出会えない現実や、このたびの化石搬出作業の大変さを体験し、あらためて収蔵している化石たちを見ていると少しだけ、関係者各位のご苦勞の一端に触れた気がしました。それにしても化石は 重い！（しみじみ・・・）

（普及員 打本）

むかわの化石や生き物

アサヒガニモドキ（化石）

今生きているアサヒガニは、カニの中でも原始的とされ、後向きに歩いて砂にもぐり、目だけを出します。浅い海の砂底にすんでいます。食用になります。

←穂別で見つかった、
甲らの化石（白亜紀）

展示室の復元模型→



2008年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

6月のこよみ

・月曜日は休館日です

■：休館日

今から6,500万年前、一つの隕石によって地球の環境は大きく変わり、それまで栄えていた恐竜やアンモナイトなどが絶滅してしまいました。でもそのおかげで、我々もふくめて今の生き物たちがこうして栄えているのです。（さ）